

平成27年度宝塚市政に対する要望

宝塚商工会議所

わが国では、人口減少や少子高齢化など深刻化する社会経済の潮流にあり、地域社会を持続させていくためには、地域の経済・雇用を担う中小企業や小規模事業所の活力再生、そして、起業・創業支援や事業承継の支援により若者、女性、シニアなど多くの人々が地域社会参加できる社会を築く必要があります。

宝塚商工会議所としても、宝塚市産業振興基本条例の基本理念や経済団体の役割を認識するとともに、本市の産業界の声を十分に反映するよう努め、従前にもまして宝塚市と緊密な連携を図り、産業振興に全力を挙げる所存です。

つきましては、平成27年度予算編成にあたり、個性と魅力にあふれ、にぎわいと活力に満ちたまちづくりにつながる施策を充実し、以下の5項目について積極的に取り組まれるよう要望します。

1. 宝塚市産業振興基本条例に基づく産業振興政策の推進について
2. 都市機能の維持強化の具体策について
3. 既存事業者への支援及び企業誘致の推進について
4. 市内建設・造園業・測量設計業等の支援施策について
5. 国際観光都市に相応しい集客の創出について

1. 宝塚市産業振興基本条例に基づく産業振興政策の推進について

市内産業の振興について、宝塚市産業振興基本条例に照らし、新たに設置された「宝塚市産業活力創造会議」では、産業全体の活性化に向けて、市民・事業者・知識経験者・行政が一丸となって調査・審議が重ねられています。新たな産業振興に関する基本施策や行動計画に基づき、宝塚市の産業振興のため、商業の活性化、製造業等の誘致、特産品・新製品開発の支援、観光集客を誘発する具体的な取り組みを推進されたい。

とりわけ、新名神高速道路の平成 28 年の一部供用開始に併せ、(仮称)宝塚サービスエリア及び(仮称)宝塚スマートインターチェンジの有効活用に向けた取り組みも大変重要な時期を迎えようとしています。西谷地域は、魅力にあふれる豊富な資源を有しています。南部市街地とのアクセスを改善し、観光面や農商工の連携といった取り組みを一層強化されたい。

また、「小規模基本法」や「小規模支援法」に定める経営発達支援事業についての計画策定、実施など、商工会議所が担う新たな業務は拡大し続けています。ついでには、商工会議所の中小企業相談所の機能の充実、強化を図り、市内の産業振興のさらなる推進のため、小規模事業者経営改善支援費補助金の充実など、必要な措置を講じられたい。

2. 都市機能の維持強化の具体策について

宝塚駅周辺で過去に取り組んだ異色の都市型まちづくりや再開発事業も、20 年の節目が過ぎました。当初の計画は所期の目的を達成し一定の機能を発揮しましたが、今後の宝塚市の持続的発展のためには、都市機能維持・強化が必要な時期にあります。

平成 26 年度からスタートする宝塚駅前広場をはじめとする一連のリニューアル工事は真に的を得た取り組みであります。

道路整備の推進は、第 5 次宝塚市総合計画策定時に実施された市民アンケートでも重点化を望む意見が強く 23 万市民の願いと言えます。

そこで、

- ①ガーデンフィールズ跡地の利用については、宝塚の歴史・文化を発信できるものでなければなりません。宝塚の集客の目玉として既存の歌劇や手塚治虫記念館と新たに設置される商業施設との相乗効果が発揮できると同時に、日常の市民生活にとっても有効な交通インフラの整備を実現されたい。
- ②NTN跡地には、住宅・マンションの他大規模商業施設の立地が予定されています。市取得用地の公共利用に加え、中央公民館の移転などから、周辺道路の整備が重要となります。宝塚市役所前交差点・小浜交差点間の 4 車線化などの周辺道路の機能強化を実現されたい。

以上のインフラ整備の推進は、将来の宝塚市の命運を左右するといっても過言でない「今」取り組むべき重要課題であります。

3. 既存事業者への支援及び企業誘致の推進について

宝塚商工会議所では、平成26年度、引き続きワンコインdeスタンプラリーによる市内での消費の喚起、「起業・創業なんでも相談日」の開設や「やさしい起業セミナー・ビジネスプランコンテスト」の実施、また、飲食業者の商品開発組織「宝塚くいしんぼう倶楽部」の立ち上げから運営等の支援など、新たな宝塚の魅力創出に努力いたしております。これらの事業の目指すところは宝塚市内での起業・創業支援、企業誘致、既存事業者の意欲向上を図ることにあります。

会員事業所からの下記要望について取り組まれない。

- ①宝塚市は製造業が極端に少ない。工業振興の観点からダイナミックな構想、計画を策定し、23万都市の工業核等の形成に向け、例えば採石場跡や、凍結解除を要しますが北部開発用地の新名神高速道路（仮称）宝塚サービスエリア周辺の一部など、未利用地等に産業の集積を図り、事業者が進出できる環境整備に取り組まれない。
- ②電気料金、ガス料金、上下水道料金の上昇は、企業経営に大きな負担となります。受益者負担のあり方を見直し、上下水道料金の据え置きをされたい。
- ③ゴルフ場が災害から早期に復旧し、宝塚の観光に寄与できるよう支援されたい。
- ④市内への新たな企業の立地促進や既存事業者に対する操業環境の整備や設備更新の投資等を促進するため独自の税制、融資など優遇措置の一層の拡充を要望します。併せて、日本政策金融公庫が取り扱う経営改善資金貸付の金利を宝塚市が補助する制度を新設されたい。
- ⑤「花卉植木産業」は、宝塚の伝統産業であり文化です。市内教育機関（学校等）でのオープンガーデンの作成など、植物栽培を通して、子どもたちが花卉園芸の伝統と文化に興味を抱き、体感し、命の大切さを学習する「花育」の実施を提案します。子どもたちが「日本三大植木産地」である宝塚に誇りを持ち緑化活動の担い手となる取り組みで、地場産業の振興につなげられたい。
- ⑥企業誘致、既存事業者への支援、農商工連携、地域ビジネスの展開や新産業の創出などを図るためにも、総合的に、スピーディーに対応できるワンストップサービス機能を果たす窓口を開設されたい。

4. 市内建設・造園業・測量設計業等の支援施策について

地域内の建設需要は市内事業所での施工が理想的であり、市内事業所の競争力を高める手段としても有効です。そのため、市内建設事業者等が耐震・バリアフリー・住宅リフォーム等の工事を請け負う場合の補助金助成枠の拡大など、市内建設業の受注機会の増加につながる施策の実施を要望します。

また、8月豪雨の災害復旧工事をはじめ市民の安全・安心に資する社会基盤の整備等に係る公共工事予算を十分に確保されたい。近年、資材急騰や熟練工の不足等企业単位では解決が困難な事象も出ています。これらの状況も斟酌いただき、人手不足による労務単価や資材費のUPを反映した予算措置を強く要望します。

次に、これら公共工事の発注に際しては、地元中小企業の受注機会の拡大に努め、優先発注枠の設定と分離・分割発注の徹底を図られたい。

また、入札に関して、最低制限価格制度をすみやかに国・県に準じたものにしていただくよう要望します。

5. 国際観光都市に相応しい集客の創出について

少子高齢化がもたらす影響が顕著にあらわれるものに都市の集客があります。現在の集客が未来永劫続かないことは少子高齢化の進展で明らかです。当市においても多くの集客施設が失われて来たのは時代の変化による結果であり、新たな観光集客を創出するためには多様なニーズ応えなければなりません。

市内での各種催し物、JR・阪急、航空各社との連携強化、スマートフォンやタブレット端末用アプリケーションの開発、さらには企業・地域団体が実施する観光事業を一元的に発信する事業を都市インフラと捉え、観光客利便性の強化に努めていただきたい。

更に、観光客へのインフォメーション不足を改善する機能として、観光アプリケーション等の製作や普及を図り都市機能の充実に努められるよう要望します。

国内外からより多くの観光客を呼び込むためには、観光資源の発掘はもとより、多様化する観光ニーズに応える効果的な情報発信及びPRが重要です。今後市内集客施設が創設され、それに伴い周辺環境も多様に変化します。これらのインフォメーションを従来の観光案内板等で更新するのは当然ですが、更新の際には外国語表記を増やすことも併せて実施していただきたい。特に、主要な玄関口である宝塚駅周辺にはデジタルサイネージを設置し、可能な限り現在の宝塚の情報を来街者に案内可能になるよう予算措置を講じられたい。

なお、宝塚商工会議所として電子看板設置を現在関係機関とも調整の上、推進いたしております。上記の観点から宝塚市と協働して運営することが本意であります。よってハードは当会議所が負担し、今後運営費用等について宝塚市も応分の負担を検討いただきたい。

要望書提出者

宝塚商工会議所

| | | |
|-------------|--------|-------------------|
| 会 頭 | 宮本 博司 | (株)宮本工務設計事務所 |
| 副 会 頭 | 大室 　・ | (医)尚和会 宝塚第一病院 |
| 副 会 頭 | 矢野 浩臣 | (宝塚高原ゴルフ(株)) |
| 専務理事 | 新谷 俊・ | (宝塚商工会議所) |
| 理事・事務局長 | 岡本 　学 | (宝塚商工会議所) |
| 総務常任委員長 | 矢野 恒男 | (株)矢野工務設計事務所 |
| 経済活性化常任委員長 | 温井 甚佑 | (株)エフエム宝塚 |
| 広報常任委員長 | 神尾 友治 | (株)ファミリーエイジェンシー |
| 会員福利厚生常任委員長 | 川口 義孝 | (株)売布建設 |
| 工業部会長 | 星野 憲太郎 | (株)ハイレックスコーポレーション |
| 建設・植木部会長 | 龍見 治彦 | (株)タツミ測量設計事務所 |
| 商業部会長 | 池田 則夫 | (宝塚市商店連合会) |
| 観光文化部会長 | 小早川 優 | (株)若水 |
| 理財士業部会長 | 門田 安正 | (門田安正税理士事務所) |
| サービス部会長 | 藤井 泰生 | (仁川理容) |
| 青年部会長 | 岩瀬 勝也 | (イワセ歯科・矯正歯科クリニック) |
| 女性会会長 | 松本 千代子 | (まつ本) |
| 西谷支部長 | 二井 久和 | (N I I 建築サービス) |